

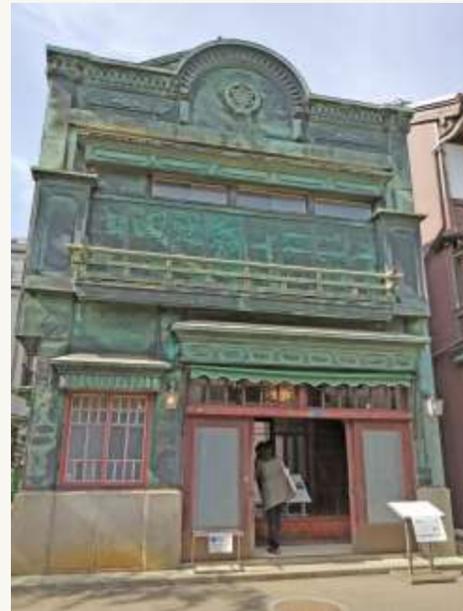
■作品のテーマ：「レトロモダン建築」

私は日本の建築物に大変興味があり、これまでのマイブックや総合演習などの授業を通して日本の建物をモチーフにしたジュエリーを作ってきました。

卒業制作を作るにあたって、技術面だけでなくデザイン面でも納得のいくものが作れるよう、テーマを引き続き日本の建物にし、それをより進化させることにしました。

今回私は日本の建物の中でも大正から昭和にかけて建てられたレトロモダン建築に焦点を当てデザインを考えました。

板ガラスやタイルなど海外から新しく導入された素材により発展した和洋折衷の建築様式の美しさや、当時は最先端のものとして栄えた建物の数々が、時代の流れと共に古びて立て替えられ、失われていく事実を感じる哀愁などに思いを馳せながら作りました。



(左下画像引用元：<https://ameblo.jp/shige2010year/entry-12231565215.html>)

■デザイン

アイテムは、『モザイクタイルをモチーフにしたリング』と『ガラス戸をモチーフにしたペンダント』の二つです。
タイルとガラス戸はどちらも近代日本において広く普及し、現在でもなじみの深い建築資材、建具です。
具象的なジュエリーが好きなので、建物としての表情を極力残しつつ、ジュエリーとしての美しさも引き出せるようデザインを考えました。

■素材

シルバー925、キュービックジルコニア、ローズクォーツ、水晶、アバロンシェル

水晶にアバロンシェルを張り合わせ、ガラス戸の向こうに広がる風景を表現しました。アバロンシェルの神秘的な模様が、豊かな森林や遥かに広がる海を彷彿させます。
タイルを模す中石をやわらかな色味が特徴のローズクォーツにすることで、滑らかな質感強調させることが出来ました。

■加工技術

建築物のしっかりとしたラインを表現するために貴金属部分はCADで作成しました。
二年で学んだ貼り合わせや三年で学んだ枠合わせ、宝石彫刻などの技術を用いてオリジナルのルースを作成し、個性のあるジュエリーにしました。
リングは全面を鏡面仕上げにし、タイルの持つ光沢感を再現させました。
ペンダントは鏡面とブラスターの二つのテクスチャーを使用し、多様な素材を集めて作られる建物の空間性を表現しました。